

小さな力士たちの大一番  
団体戦で内子小Aが4連覇達成

「第12回内子町子供相撲大会」(内子町教育委員会主催)が8月8日、知清河原相撲場で開かれました。町内の6つの小学校から108人が出場し、熱戦を繰り広げました。団体の部では内子小学校Aチームが4連覇を達成。応援に駆け付けた家族や友人の皆さんは、小さな力士の技と力の競い合いを、大きな声援で盛り上げていました。個人の部の優勝者は次のとおりです。



1\_選手も観客も力が入る、土俵際の攻防  
2\_団体戦で優勝した内子小学校Aチーム

■個人の部優勝者

	男子	女子
1年生	大野 智輝くん(天神)	宇都岡 音沙さん(内子)
2年生	中野 泰希くん(五十崎)	宮岡 さらさん(内子)
3年生	米田 倫太郎くん(内子)	河野 さくらさん(天神)
4年生	織田 優晴くん(内子)	大野 結衣さん(内子)
5年生	二宮 颯聖くん(内子)	大野 春陽さん(内子)
6年生	中野 賢伸くん(五十崎)	清水 未来さん(内子)

内子町が舞台の新作狂言「かみ遊び」  
子どもたちが本格的な稽古を開始

10月29・30日に開かれる「内子座100周年記念公演・東西狂言の競演」に向けた子ども狂言の稽古が8月22〜24の3日間、内子座で行われました。同公演では茂山狂言クラブの子どもたちが、「福部の神」というめでたい曲と茂山千三郎さんの新

作狂言「かみ遊び」に出演する予定。22日に初めて新作狂言の台本を手にし、早速、読み合わせを始めていました。登貴姫役の大野結衣さんは「燈籠祭り知っているお姫様なので、頑張ってお演じたい」と意気込みを語りました。



「福部の神」の練習に励む、茂山狂言クラブの皆さん

あふれる内子座と文楽の魅力  
第20回文楽公演と記念対談

内子座創建100周年！内子座文楽第20回公演の記念対談が8月19日、文楽公演が20・21の両日、内子座で開かれました。記念対談では女優の竹下景子さん、文楽人形遣いの桐竹勘十郎さん、吉田和生さん、吉田玉男さんが、内子座と文楽の魅力語りしました。公演中に停電したとき、カーテンを開けて自然光で舞台を照らした話や、客席との距離が近いので観客と目

が合ってしまえばやりづらいなど、内子座ならではの話が語られ、来場者を楽しませていました。翌日の公演は三大名作の一つ、「仮名手本忠臣蔵」。塩谷判官の刃傷から切腹、城明け渡しを描いた三・四段目、早野勘平の悲運を描いた五・六段目が上演されました。役柄の無念がひしひしと伝わる至高の芸に、来場した文楽ファンは魅了されていました。



1\_産経新聞・亀岡典子さん(左)の進行で、竹下さんと出演者の皆さんから内子座と文楽の魅力聞き出す 2\_三段目・殿中刃傷の段の一場面。高師直を斬ろうとする判官を、家老たちが止める 3\_第20回公演の成功を出演者と観客と一緒に祝う

学校からいじめをなくそう！  
小・中学生がいじめ対策を協議

「内子町いじめ対策こども会議」(内子町教育委員会主催)は8月23日、内子自治センターで開かれました。町内の学校からいじめをなくすために始まり、今回が2回目。全ての小・中学校の代表者が参加し、各学校の取り組みなどを発表しました。



各小・中学校の代表者3人が、スライドで取り組みなどを発表

グループ協議では「あかさつ運動が広がり、昨年の会議が生かされた」などと感想を出し合いました。また、いじめ防止対策として、各学校で会議をすることや、保護者や地域の人たちに会議に参加してもらおうなどの意見が出ていました。

鍛えた技と力を全国大会で  
出場者の激励会を開催

スポーツの全国大会出場者の激励会が8月22日、内子町役場本庁舎で行われました。すでに大会を終えた、光井和輝さんと上岡亜子さんが出席し、成績を報告しました。光井さんは「高いレベルの中で、自己ベストを出せてうれしかった」、上岡さんは「全国大会で素晴らしい経験ができた。この経験を今後生かしたい」と、それぞれ感想を述べました。



壮行会に出席した上岡亜子さん(左)と光井和輝さん(右)

■全国大会出場者一覧(敬称略)

氏名(区名)	競技名	大会名	開催地	大会日程
光井 和輝(村前)	110mハードル	第69回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会	岡山県	7月28日～8月2日
上岡 亜子(宿茂)	ビーチバレー	ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	愛媛県	8月11～14日
藤原 幸夫(吉野川)	ソフトボール	第31回全日本壮年ソフトボール大会	宮崎県	9月3～5日
徳本 伸二(富長)				
池田 修(宿茂)				